

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) テイカ株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 541-0041 大阪市中央区北浜3-6-13
----	------------------------	----	---

本票作成 部署名：テイカ(株) 岡山工場 環境課

主たる業種 分類コード 16 業種名：化学工業

事業の概要 無機粉体及びその加工品の製造を行う工場が県内3ヶ所に持ち、県内事業所の合計従業員数300名。

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山市東区西幸西1072
	②	熊山工場長船分工場	瀬戸内市長船町長船1239-1
	③	熊山工場	赤磐市小瀬木50-1

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	164,722 t CO ₂	184,573 t CO ₂	159,800 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	岡山工場	180,337 t CO ₂
	②	熊山工場長船分工場	1,922 t CO ₂
	③	熊山工場	2,314 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.1 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 酸化チタン・微粒子酸化チタン・チタンイカ・酸化亜鉛・表面処理製品・表面処理製品の加工品	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		3.965	3.844	3.847
	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・平成29年度の原単位当たりのCO₂排出量は基準年度と比較して減少し、目標達成出来た。生産量が基準年に比べ約6,500t増加したことが大きな要因である。生産量に左右される面が大きい。今後も生産状況に応じたボイラーやキルンの稼働とCO₂削減の取り組みを行っていき、良好な原単位への努力を継続して行っていく。

【推進体制】

- ・月例の部会において、エネルギーの使用状況や原単位を確認している。
- ・省エネパトロールを実施することで、エネルギーの無駄を洗い出し、削減、改善を行い、省エネ意識の高揚を図っている。
- ・ISO14001に基づき、環境改善を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(29年度実施分) 岡山工場	(29年度実施分) ・電気水冷式チラーへの更新 ・照明設備のLED化 ・省エネエアコンへの更新 ・周辺外灯のLED化 ・省エネエアコンへの更新 ・周辺外灯のLED化 (今後実施予定分) ・省エネエアコンへの更新 ・照明設備のLED化 ・高効率モーターの導入 ・計装空気用コンプレッサーの統合 ・高圧ポンプのインバーター化 ・ドライヤーの廃熱回収 ・省エネエアコンへの更新 ・周辺外灯LED化 ・ボイラーの更新
長船分工場	
熊山工場	
(今後実施予定分) 岡山工場	
長船分工場	
熊山工場	

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--